

身近な自然に喜びを

三島・自然に親しむ会

駿東郡清水町八幡71-1-2509
TEL・FAX/0559-73-6628



私たちの『三島・自然に親しむ会』は、自然観察指導員のメンバーを中心に、地域の身近な自然を楽しもうと発足しました。以来十数年、月1回程度の観察会と年1回の会報の発行という形で活動を続けています。

周りを国立公園に囲まれ、フィールドには事欠きません。富士山麓の奥深い自然や観光地ではない箱根の魅力を求め、また伊豆半島の海岸生物を楽しむ、まさに地の利を活かした観察会を行っています。

現在会員数は80名程です。『会』としては、何かをしなけ

ればならないという規制はありません。

観察会を媒体に、図鑑と首引きの人、重いカメラを離さない人、絵を描く人、短歌を作る人等、各人がそれぞれの方法で自然を楽しんでいます。

ここ数年、地域の子供たちに自然の面白さを伝えたい、そんな趣旨でセミの羽化の観察会を行っています。夕方から始まるセミの羽化は参加した子供ばかりか、付き添いの大人まで魅了するようです。時間のかかる羽化を見続けるというのは子供にとって決して楽な作業ではないと思われるのですが、その神秘的ともいえる美しさ、力強さに時の経つのも忘れてしまうようです。ただ街の中で、安心して観察会を行える場所を見つけるのが一苦労です。せっかく地上に出てきたセミにとっても生きにくい世の中なのかもしれません。

大自然と呼ばれる美しさは捨てがたい魅力がもちろんあります。それでも本当に身近な道端や畑の雑草に、川原を飛び回るトンボやチョウに「小自然」の美しさを見出していく、そんな精神を忘れずに、細々とではありますが、今後も活動を続けていきたいと考えています。

富士山を守り富士山を研究する大学

富士常葉大学 環境防災学部

富士市大淵325 TEL/0545-36-1133 FAX/0545-36-2651

<http://www.fuji-tokoha-u.ac.jp/>



私たちの富士常葉大学は本年4月に開学し、ふじさんネットワークの仲間入りをさせていただきました。

私たちの大学では、富士山の成り立ちや自然の生態を研究し、富士山の環境を守ってゆきたいと考えています。

本年4月、新入生達はエコ研やピオトープ研を立ち上げ、環境の勉強を始めました。早速、富士市及び静岡県の植林事業には65名が参画し、台風で荒れた風倒木地帯に苗を植えました。これらがどのように育ってゆくかに関心を寄せ、来年もぜひ来たいといっています。夏の下草刈

りには、たまたま試験時期と重なったこともあり、学生は参加しませんでした。来年は是非大勢でお手伝いしたいと考えています。

専門課程の授業が始まると、富士山の動植物や生態のみならず、火山としての富士山の成り立ち、熔岩等の噴火の歴史や地下水の流れ等も勉強し、富士山についての本格的な観察・調査が始まります。丸火自然公園地域をモデルとして、自然循環系の長期にわたる観察と調査の実習により、富士山の自然の成り立ちを学びます。

私たちは、富士山の活動を宿すフォッサマグナ周辺の地殻の動きについても監視の目を広げ独自の精密測定を行い、岳南の富士、富士宮、芝川、富士川等の地域の地震防災に積極的に関わってゆきたいと考えています。精密な防災マップの作成をとおして富士山の活動もにらみつ、富士の地域の将来にわたる環境防災の諸問題を富士大の中心的課題として研究を進め、地域の中の大学としての役割を果たしたいと思います。